



治療的アセスメントについて（保護者の方へ）

治療的アセスメントではどのようなことをするのでしょうか？

アセスメントでは、まず心理士があなたとお会いして、お子様について気になっていることや心配な点についてうかがいます。そして、アセスメントによって検討したい問題が何なのかを明確にし、この質問事項について話し合います。このとき、お子様の状況に関して情報を持っている方（たとえば、学校の先生や以前治療に関わっていた人など）から話を聞くことや、学校や家でのお子様の様子を観察することについて、許可をいただくこともあります。その後、お子様と何回かのセッションを持ち、心理テストを行います。そして多くの場合、アセスメントの後半に家族の皆さま全員でのセッションを設定します。このセッションで、家族の中でお子様がどのように行動するのかわかってきます。アセスメントの最後には（通常開始から4～6週間以内）、お子様の心理テストの結果や、いただいていた質問事項とそれがどのように関係しているのかを、保護者の方と一緒に話し合います。そして、アセスメント結果をまとめ、お伝えします。お子様とも面接し、アセスメントでわかったことを伝えます。ご希望があれば、学校の先生に会って結果を説明することもあります。

アセスメントからはどんなことがわかるのでしょうか？

知りたいことがあっても、それがアセスメントで検討できるものかどうかわからない場合は、とりあえずその内容を書き留めた上、私たちにお尋ねください。もっとも役に立つ質問になるよう、一緒に考えたいと思います。もしもその質問が心理アセスメントでは答えることができないものであれば、必ずその旨をお伝えします。

子どものアセスメントでは、通常、質問の数は6個くらいなら対応できます。多くの場合、保護者の皆さまからはお子様に関する質問が出されますが（たとえば、「あの子はどうしてあんなに怒っているのだろうか？」「あの子は学習障害なのだろうか？」など）、他には家族と関係した質問もあります（「どうしてあの子は夫婦が問題を抱えている時にいつも具合が悪くなるのだろうか？」）。こうしたアセスメントの目的について保護者の方と私たちの間で合意に達してはじめて、アセスメントを開始します。

どうして治療的アセスメントと呼ばれているのでしょうか？

私たちが行っているアセスメントは、クライアントの問題を理解するために心理士とクライアントが共同作業をするというものです。これはスティーブン・フィンやコンスタンス・フィッシャーによって考案された手法です。アメリカやヨーロッパではこれまでに多くのクライアントがこのアセスメントによって深く肯定的な影響を受けています。また、治療的アセスメント後に良い変化（たとえば、親子の問題が少なくなった、家族内の葛藤が減った、親子がお互いによく理解でき、関係が良くなったなど）が生じたことを示す研究がいくつかあります。これらの効果は、アセスメント終了後も長い期間続くともされています。

アセスメントの結果を本当に教えてくれるのですか？

私たちが目標としているのは、役に立つ、わかりやすい情報を提供することです。ほとんどの場

合、お子様についての質問を出された時点で、保護者の方にはその答えを聞く心の準備ができています。たとえその答えが耳に痛いものだったとしても、大丈夫だと思います。私たちは、アセスメント結果を専門家でない人にも理解しやすい言葉で説明しています。もしもフィードバック・セッションでの話の中に何かはっきりしない部分があれば、どうぞその旨おっしゃってください。

他にはどのような人がアセスメント結果を知ることになるのでしょうか？

お子様の検査結果は秘密扱いにしています。書面で許可をもらっていない限り、皆様がクライアントであることやアセスメント結果については誰にも漏らしません。この守秘義務が免除されるのは次のような場合です。

- 1) 保護者やお子様にしつこく自傷他害の危険がある場合
- 2) 裁判所から鑑定を求められた場合
- 3) お子様が無視されている可能性が高いと思われた場合、もしくは保護者やお子様からそのような情報が得られた場合
- 4) 私たちがクライアントから訴訟を起こされた場合

その他にも、法の要請によって個人情報の開示を求められる場合があります。また、職務の質の向上のためにセンターのメンバー間でコンサルティングを行うことがあります。その場合は個人が特定されるような情報は出しません。個人情報保護について他に疑問点があれば、どうぞお尋ねください。

アセスメントの間、子どもを支えるためにどのようなことをしたらいいのでしょうか？

気がかりに思っていることやアセスメントを求めた理由について、お子様に伝えておくことをお勧めします。お子様にどのように話したらよいか迷われるようでしたら、どうぞ初回の面接時にご質問ください。初めてお子様をこちらに連れてこられる際には、お子様を私たちに紹介し、お子様が落ち着くまでそばにいてあげてください。また、前の晩にお子様は十分睡眠を取ることができたか確認しておいて下さい。テストのセッションのことを親に話したがる子もいますし、逆によく聞いてもらいたがる子もいます。この点については、お子様の様子を見て判断されるのが一番良いと思います。アセスメントの期間中にお子様の行動に何か変わったことがあった場合は、できるだけ早く私たちにお知らせください。

アセスメントの費用はいくらでしょうか？

アセスメントの費用は、検討する質問事項の複雑さによって変わってきます。予約の電話の際にご相談ください。

問い合わせ先は？

お問い合わせは、次の電話番号をお願いします。留守番電話になっていますので、治療的アセスメントについての電話である旨をおっしゃっていただいた上、お名前と連絡先電話番号等をご伝言ください。折り返しこちらから連絡差し上げます。

治療的アセスメント・アジアセンター (ACTA : Asian Center for Therapeutic Assessment)

東京都文京区本郷 4-12-16-618 Phone/FAX: (03) 5684-3670

Email: asiancta@gmail.com

URL: <http://asiancta.jimdo.com>

